

平成21年度

橋梁技術発表会及び講演会

- 次世代に贈る鋼橋のために -

会場

ドーンセンター

(大阪府立男女共同企画・青少年センター7Fホール)

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49

Tel.06-6910-8500

平成21年

日時

10

金

23 13:00~17:15

参加費無料

定員350名

申込先着順

13:00~13:10

開会の辞

社団法人日本橋梁建設協会

会長 須賀 安生

13:10~13:25

橋建協の講習会・講演会活動報告

企画委員会広報小委員会

第1部:技術発表会

13:25~14:05

1.都市内高架橋の設計・施工

ー中央環状線西新宿ジャンクション

立体交差部の実施施工報告ー

技術委員会架設小委員会

14:05~14:45

2.ストーンカッターズ橋工事報告

ー世界最大級の複合構造斜張橋の製作・架設についてー

企画委員会国際小委員会

14:45~15:25

3.鋼床版の維持管理における調査方法

ー実態調査に基づく鋼床版の点検手法の検討ー

技術委員会鋼床版小委員会

15:25~15:40

休憩

第2部:特別講演会

15:40~16:10

1.現在を造り、未来を創る鉄鋼材料

ー厚板製造技術とその品質管理ー

社団法人 日本鉄鋼連盟 橋梁用鋼材研究会

16:10~17:10

2.わが国における複合橋梁の
将来展望大阪工業大学 工学部
都市デザイン工学科
教授 栗田 章光

17:10~17:15

閉会の辞

橋梁技術発表会実行委員会

申込方法

①Fax. 06-6535-5086(裏面の用紙に記載)

②ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>

の「技術発表会申し込み受け」まで(受付は9月中旬から)

申込期限

平成21年10月9日(金)

懇親会

ドーンセンター1階「パフォーマンススペース」にて

17時30分から開催します。

会費 1,000円

参加ご希望の方は、発表会当日受付にてお申し込みください。

連絡先

社団法人 日本橋梁建設協会 近畿事務所

〒550-0005 大阪市西区西元町1-8-2 三晃ビル5階

Tel. 06-6533-3238

継続教育

CPDS認定予定

※東京地区は 10月 9日(金) (特別講演講師:東京工業大学 三木教授)

東北地区は 11月 6日(金) (特別講演講師:東北学院大学 季准教授)

九州地区は 11月12日(木) (特別講演講師:熊本大学 崎元顧問)

中部地区は 11月18日(水) (特別講演講師:名古屋大学 伊藤教授)開催です。

申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

発表原稿のPPTはホームページに掲載しますので、ご希望のかたはダウンロードするをお願いします。

アクセス



●京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を通して1番出口より東へ約350m。

●地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。

●JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。

1 都市内高架橋の設計・施工

ー中央環状線西新宿ジャンクション立体交差部の実施施工報告ー

本工事は国道20号(甲州街道)の上を通る新宿線と環状第6号線(山手通り)の地下に建設される山手トンネルを結ぶ西新宿ジャンクションの架設です。本橋は、新宿線のさらに上空を跨ぐ鋼製橋脚と、鋼床版箱桁の剛結立体ラーメン橋です。架設地点は都内有数の交通渋滞路線が集中し、非常に厳しい施工環境下のため、複雑な架設段階毎に骨組み解析を行い、断面力や変形量を算出し、上部工の構造詳細及び架設時の精度管理へ反映させ施工を完了した。ここでは、都市内高架橋特有の厳しい制約条件の下での実施施工について報告します。

2 ストーンカッターズ橋工事報告

ー世界最大級の複合構造斜張橋の製作・架設についてー

ストーンカッターズ橋は、香港ランブラー海峡を跨いで青衣島～九龍半島(ストーンカッターズ半島)に架かる橋長1,596m、中央径間1,018mの世界最大級(世界第二位)の斜張橋です。主桁は中央径間と主塔周りが鋼製、側径間がコンクリートの2主箱桁で、2基の主塔はステンレス、鋼、コンクリートのハイブリッド構造が採用されています。

本格的な国際入札案件で、必要な材料・資材は世界各国から調達し、技術者・作業員は香港、日本、イギリスをはじめとする世界各国から集まりました。本報告では、中国本土での鋼桁および主塔鋼・ステンレス部の製作と、香港でのそれらの現地架設について報告します。

3 鋼床版の維持管理における調査方法

ー実態調査に基づく鋼床版の点検手法の検討ー

昨今、主に都市高速や湾岸地域などにおいて、重交通に起因する鋼床版橋梁の疲労き裂が発見され、原因究明や補修・補強工法の検討、および最新の知見による補修工事などが行われています。鋼床版小委員会では、国土交通省 国土技術政策総合研究所との共同研究として、重交通路線に位置する国道を対象とした全国調査を行い、これらの経験を踏まえ、特に通常の目視点検では発見が困難なトラフリブを有する鋼床版を対象としたデッキプレート貫通型き裂の検出のための調査要領(案)を作成しました。ここでは、全国調査で発見された疲労損傷事例と調査要領(案)の概要を報告します。

特別講演会

1 現在を造り、未来を創る鉄鋼材料

社団法人 日本鉄鋼連盟 橋梁用鋼材研究会

鉄鋼材料は大量生産に加えリサイクル性、加工性等の特長により、広く構造物に用いられていることはご存知のとおりです。鉄鋼業では、さらなる生産効率化、操業安定化、環境負荷低減を目的とした技術開発に継続して取り組んでいます。橋梁用厚板においても、橋梁用高降伏点鋼板(JIS G 3140、SBHS)やニッケル系高耐候性鋼などの新商品、それを支える造り込み技術としてTMCP(熱加工制御、Thermo-mechanical control process)など、製造・品質管理技術は日々進歩しています。今回は、厚板を中心とした鉄鋼材料の製造技術を概説し、その品質管理について管理システム、管理方法の実際を紹介いたします。

特別講演会 講演者紹介

2 わが国における複合橋梁の将来展望

栗田 章光

大阪工業大学 工学部
都市デザイン工学科 教授

一略歴一

1946年 大阪府生まれ
1969年 大阪工業大学工学部土木工学科卒業
1971年 大阪工業大学大学院工学研究科
土木工学専攻修士課程修了
1971年 大阪工業大学工学部土木工学科助手
1982年 ドイツ ボーフム大学構造工学研究所
客員研究員
1992年 博士(工学)(大阪市立大学)
1995年 大阪工業大学工学部土木工学科教授
2000年 大阪工業大学構造実験センター長
2002年 大阪工業大学工学部
都市デザイン工学科(改名)教授
2007年 大阪工業大学学部長

委員会 研究会

(財) 鉄道総合技術研究所
SRC構造物設計標準に関する研究委員会委員兼幹事(元)
(社) 土木学会
新形式の鋼コンクリート複合橋梁調査研究小委員会委員長(元)
(社) 土木学会
鋼コンクリート合成構造連合小委員会委員長(元)
国土交通省中国地方整備局
志津見大橋上部工事設計施工検討委員会委員長(元)
(社) 土木学会
複合構造委員会委員
(社) 建設コンサルタンツ協会近畿支部
複合橋梁形式研究委員会委員長(元) ほかに多数

所属学会 団体

(社) 土木学会
(社) 日本鋼構造協会
(社) 日本コンクリート工学協会
I A B S E ほかに

講演概要

複合橋梁は、合成橋梁と混合橋梁に分類される。今日まで、わが国においても種々の複合橋梁が開発され実用化されてきた。しかし、EU諸国では鋼橋とコンクリート橋との熾烈な競争の結果、わが国の複合橋梁よりも経済性に優れた各種の複合橋梁が実用化されている。これには設計法の違いも含まれている。本講演では、対象をI桁橋と箱桁橋ならびにアーチ橋に絞り、EU諸国での施工事例を可能な限り多く紹介し、今後のわが国における複合橋梁の発展に寄与したい。

FAX番号:06-6535-5086

平成21年度

橋梁技術発表会 [大阪地区]

参加申込書

所 属

団体名

所属

氏 名

役職

氏名

住 所

電話番号

FAX番号

E-mail

前回参加の有無 有 ・ 無